

重点6 人権教育の充実

1 学校人権教育の充実

ねらい

人権を尊重し、人権問題を解決する行動力を育成します。

< 推進の重点 >

「四日市市人権教育・啓発基本方針」「四日市市学校教育ビジョン」「学校教育指導方針」を踏まえ、各校・園の人権教育推進計画の策定・充実に努めます。

各校・園の人権教育の実践の成果と課題に基づいた人権教育推進のためのカリキュラムや学習プログラムを作成し、人権教育を充実・発展させます。

現状と課題

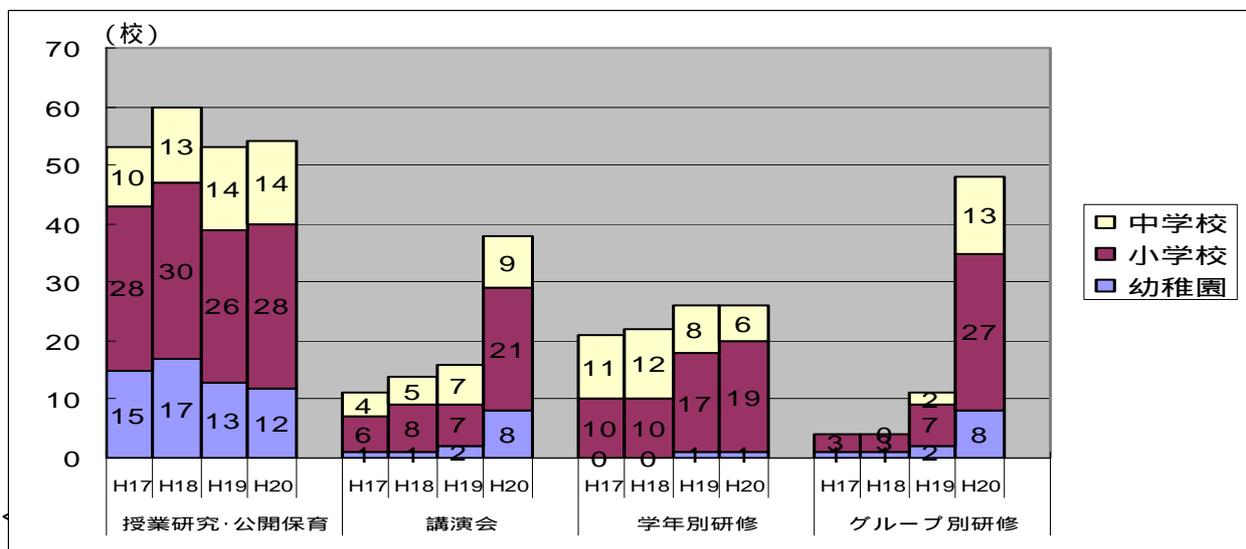
人権意識の高さの指標（学校アンケート集約より）

	「いじめは絶対いけない」と思っている	「学校が楽しい」と感じている	【達成状況】 人権意識は高い
小学校（40校）	91%	91%	91%
中学校（22校）	80%	83%	81%
計	89%	86%	88%

いじめは、社会にある様々な人権問題と同様に深刻な人権侵害である。相手の立場を理解し、痛みをわかる子どもを育成することは、人権感覚の向上につながります。また、仲間づくりの取組が進めば、子どもが学校・園に来ることが楽しく、友だちとつながることの大切さに気づくようになります。

平成20年度末に各小中学校で実施したアンケートでは、人権学習や子ども人権フォーラムなど、各校・園での人権教育の取組が一定の成果をあげ、「いじめは絶対いけない」と思い、「学校は楽しい」と感じている子が90%近くいることがわかりました。このように当初目標の80を超えることはできましたが、この範疇に入らない子どもたちの課題を明らかにし、自分を大切に思う気持ちをはじめ、人権意識の向上を図ることが今後の取組に必要となります。

人権教育にかかわる校園内の研修推進状況（幼稚園24園，小学校40校，中学校22校）



第3章 子どもたちを指導する上で特に重要と考えるもの

実践討議

- * 人権教育年間計画や総括に関わる討議
- * ワークショップ，参加型等によるテーマに沿ったグループ討議
- * 仲間づくりなど実践記録に基づいた研究協議
- * 教師自身の人権感覚を確かめる話し合い
- * 人権に関する地域の歴史や子ども・保護者等の意識調査に基づいた討議

授業研究の充実

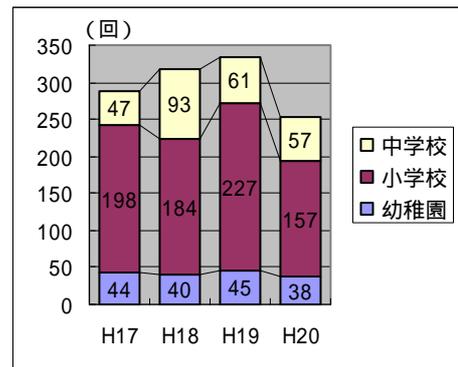
- * 提案授業をもとにした研究討議

講師による指導

- * 講演，模擬授業，公開授業，実践記録等

をもとにした指導助言

<指導主事要請訪問回数>
(人権・同和教育課分)



人権教育推進校委託事業

<20年度推進校園> 幼稚園2園 ... 四日市，常磐中央 小学校3校 ... 西橋北，神前，日永
中学校4校 ... 港，三滝，大池，内部

- * 子ども人権フォーラムの実践研究，人権コンサートの開催
- * 講演会の実施，各種研究会への参加，フィールドワーク及び還流報告
- * 四同研大会，三同教大会，三外教研究大会，外国人集住都市会議への参加
- * 人権教育カリキュラム，学習プログラムの整備，報告

学校人権（同和）教育のてびき

1974（昭和49）年より毎年1～2冊，指導資料を作成し，各学校へ配布しています。

第43集 「部落史学習地域資料」	第44集 「常磐小学校の実践」
第45集 「部落史学習地域資料」	第46集 「富田中学校の実践」
第47集 「下野小学校の実践」	第48集 「学校における人権学習プログラム」
第49集 「朝明中学校の実践」	第50集 「学校における人権学習プログラム」
第51集 「学校における人権総合学習プログラム〔ADIDAS〕」	

今後の改善方針

すべての教育活動において，いじめ，同和問題，外国人・障害者・子ども・高齢者・女性等の人権に関する問題に潜む差別や偏見を見抜き，その解決に向けた行動力を培う学習を進めます。

一人一人の子どもの思いや願い，生活実態の把握に努め，子どもが，自分自身や他の人を大切にしながら，主体的に活動できる学習方法や内容を工夫します。

すべての学校・園で，研修体制や子どもの実態に即した人権教育推進計画の見直しを進め，総合的な人権学習カリキュラムおよびプログラムの整備を進めます。

重点6 人権教育の充実

2 いじめや差別のない学校づくり

ねらい

人権を尊重し、人権問題を解決する行動力を育成します。

< 推進の重点 >

校内の人権教育を一層推進するため、その中心となりうる教職員および子どものリーダーを育成します。

授業交流、情報交換等を進め、中学校ブロックにおける保幼小中の連携を一層深めます。

いじめや差別のない学校づくりに向けて、保護者・教職員を対象に一人ひとりの人権意識を高めます。

現状と課題

人権教育教職員研修会

研修会名	月	内 容	参加者数
人権教育推進委員研修会	5	人権教育推進で大切にしたいこと (講師 意岐部小中教諭)	7 2
幼稚園人権教育実践研修会	7	教育・保育につなげよう 子どもの思い(講師 棚田純子)	5 3
小中学校人権教育実践研修会	8	人権教育学校自己診断表の活用(講師 県教委 新家厚志)	1 1 5
新採教職員人権教育研修会	8	人権問題入門(人権プラザ神前 指導主事)	5 5
人権教育リーダー育成研修会	7・8	部落史学習(中尾健次) 人権総合学習(森実) 他	3 1
人権教育フォローアップ研修会	12	人権教育をめぐる課題(森実) 多文化共生の学びづくり (宇土泰寛) 参加体験型実践研修(今村孝之)	5 3

人権教育教職員研修派遣事業

< 研修派遣人数 > 幼小中学校教職員対象

開催月・研究大会及び研修名・参加人数			開催月・研究大会及び研修名・参加人数		
6月	「せいかつ」実践交流会(いなべ)	7	10月	三重県人権・同和教育研究大会(津)	111
7月	「にんげん」セミナー(大阪)	10	12月	全国人権・同和教育研究大会(奈良)	26
8月	県教委主催園長研修会(鈴鹿)	24	2月	三重県在日外国人教育研究集会(津)	6
8月	部落解放・人権夏期講座(和歌山)	1	2月	どの子ども伸びる研究会(大阪)	2
8月	全国在日外国人教育研究集会(神戸)	3	2月	部落解放研究三重県集会(津)	6
8月	大阪府人権教育夏季研究会(大阪)	9	2月	「なかま」実践研究集会(奈良)	3
9月	全国解放保育研究集会(高松)	2	2月	人権啓発研究集会(滋賀)	4
10月	部落解放研究全国集会(宮崎)	1		先進校視察(2箇所)京都九条地域、ふしみ	5

中学校ブロック人権教育研修状況

全22中学校ブロックに委託

研 修 内 容	実施ブロック数・延べ回数
ア 講演会	21ブロック ・ 31回
イ 授業公開(小・中), 保育公開(幼)	22ブロック ・ 142回
ウ ブロック内情報交換, 連絡会	22ブロック ・ 169回

中学校区ブロック子ども人権フォーラム事業実施状況

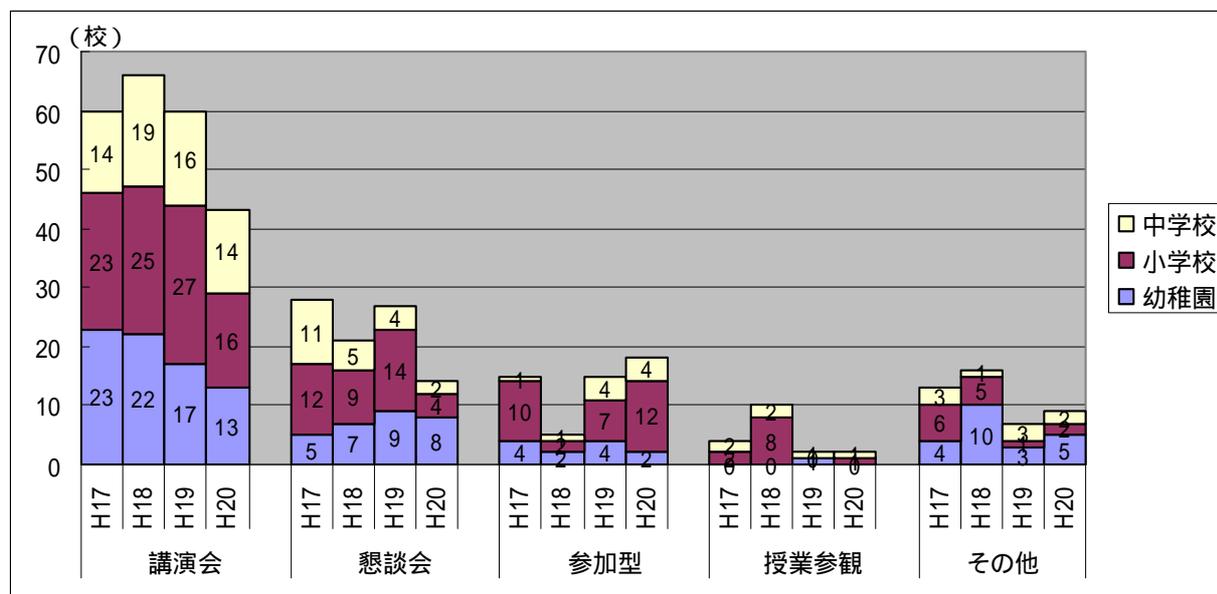
近隣の中学校区に在籍する小学校6年生と中学生（全員または代表）が集まり、自らの人権に対する体験や考え方を発表する総合的な活動の中で、子どもたちが教育関係者とともに、差別をなくそうとする生き方・人権尊重の生き方を共に高めあうことを目的に22中学校ブロックで開催しました。

（内容例）

- * 各校で開催した人権ミニフォーラムの報告とテーマ別（部落問題，障害者問題，いじめ問題等）討議
- * 参加体験型ワークショップ「わたしのものさし」等による「いじめ」をテーマにした意見交流
- * 特別支援学校の校内見学後，障害のある人との交流体験での感想や意見の交流
- * 人権コンサートや講演，ビデオ鑑賞後，分散会に分かれての意見交換会を開催
- * 地域の大人や校区にある高校の生徒も参加しての意見交流

P T A人権問題研修会状況

幼稚園・21園（24園中），小学校・25校（40校中），中学校18校（22校中）にて実施
 <実施形態>



いじめや差別をなくす人権意識向上事業

平成19年度に作成した啓発リーフレット「いっしょに考えよう～いじめ問題～（保護者編）」をもとに、教職員・保護者自らの人権感覚を振り返る参加型研修会を実施しました。

- * 37校（小25校・中12校）で研修会を実施

今後の改善方針

すべての中学校ブロックで、人権教育を通じた保育園，幼稚園，小・中学校等の連携を進めます。また，中学校ブロックごとの子ども人権フォーラムをより充実したものにします。

学校関係者・保護者一人一人が自分の人権感覚を見直すための研修機会を充実し，人権意識の高揚に努める活動を継続します。

さまざまな人権課題について，保護者や地域住民の協力を得て，個々の課題解決に向けた学校・関係諸機関・民間活動団体・行政のネットワーク構築をめざします。

人権ポスター・作文応募状況（平成20年度）

- * 人権ポスター 52校園 222点（保2園・幼3園・小32校・中15校）
- * 人権作文 36校 83点（小20校・中16校）

子ども人権文化創造事業（平成20年度）

5地域の子ども人権文化育成協議会に事業を委託

地域人権教育推進事業実施状況

拠点地区	活 動 概 要
保々地区 神前地区 常磐地区 日永地区	学校・家庭・地域が相互に連携し、子どもの基本的人権を尊重する精神を育成するとともに、子ども一人一人が大切にされる地域社会の実現に努めました。そのために、児童集会所の施設を利用して、「人権学習」「福祉活動」「進路相談」及び子どもの居場所づくり等の事業を実施しました。指導者は地域ボランティアや教員等が担当しました。
笹川地区	西笹川中学校区の外国人児童生徒を対象に日本語学習・生活文化体験交流を中心に活動しました。指導者は地域ボランティアや教員等が担当しました。

* 人権学習 4地区平均 149回開催

子ども人権活動地域支援実施状況

地域ボランティア等の協力を得て、小牧・寺方・赤堀・天白の各児童集会所を開放し、学習や遊びの場を提供しています。

- * 児童集会所の開放日数 4児童集会所 平均 258日（年間）
- * 設置パソコン利用状況 4児童集会所 平均 87回

キッズ・スクール

放課後・休日等に子どもたちの居場所づくりと、仲間としてお互いに尊重し合う心を育むことを目的として、小牧・神前・赤堀・天白各人権プラザ（児童集会所）を中心として、スポーツ活動、教養・文化活動等を実施しています。

* 開催回数 4地区平均 40回（年間：水・土・日曜日に開催）

<おもな活動>

スポーツ活動	グラウンド・ゴルフ、フラッグ・フットボール、ドッジボール
レクリエーション	集団遊び、みんなで遊ぼう会、ふれあい遊び、さんぽ
教養・文化活動	デイキャンプ、高校生によるパルーンアート、絵手紙、パネルシアター・コマのサーカス・劇（人形劇）・映画の視聴、手芸、はり絵、トールペイント、小物・手作りおもちゃづくり、リサイクル工作、菜園活動、星空観察会、お菓子づくり、パソコン教室、和太鼓教室、卓球教室、おりがみ教室、青年会との交流、音楽活動、手話体験教室、日永つんつく踊り、ダンス、マジック、ハンコづくり、生物のお話